

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	食道がん術後せん妄に対する多職種介入プログラムの有用性に関する検討－せん妄関連医療事故の発生への影響－
	研究目的	医療安全管理室で管理されているヒヤリ・ハット事例及び医療事故報告を用いて、食道がん手術を受ける患者の術後せん妄に焦点を当てた多職種介入プログラム導入前後のせん妄関連医療事故の発生およびレベルを比較することで、プログラムの有用性を検討することを目的とする。
	研究対象者	プログラム導入前、またヒヤリ・ハット事例及び医療事故報告が保管されている 2015 年 8 月から 2016 年 7 月までの 1 年間と、プログラム導入後である 2016 年 11 月から 2017 年 10 月までの 1 年間に、当院で食道がんに対する手術療法を受けた患者 82 名（プログラム導入前 32 名、導入後 50 名）。
	研究期間	西暦 2020 年 08 月 31 日～西暦 2021 年 08 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 医療安全管理室で管理されている ヒヤリ・ハット事例及び医療事故 報告	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	谷島 和美
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	患者支援部 緩和ケアセンター 医療安全推進室 看護局 消化器外科 精神腫瘍科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし